

こしわ 越王だより

家庭数配付

地域回覧

発行所 新潟市立巻北小学校



<http://www.makikita.city-niigata.ed.jp/>

令和3年10月29日 No. 10

〇〇の秋

教頭

「〇〇の秋」の〇〇に入る言葉は、何を思い浮かべますか。「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」「食欲の秋」……。様々な言葉がありますが、それらの言葉に対応するかのよう、学校でも多くの行事が行われています。

「スポーツの秋」…9月30日(木)と10月4日(月)には、マラソン大会が行われました。マラソンは「人に勝つ」というよりも「自分に勝つ」という要素が大きく、教育活動として適していると思います。練習すればするほど記録が伸び、記録が伸びたときには大きな満足感を得ることができる。大人になってもマラソンを好む方が多いのも分かる気がします。子どもたちには自分自身の健康管理のために、生涯スポーツの一つになればと思います。マラソン大会当日は、新記録を達成した子どもたちの頑張る姿や笑顔、最後まであきらめずに走り抜く子どもの姿に感動しました。



「読書の秋」…新潟市では、令和2年度から6年度まで「第三次新潟市子ども読書活動推進計画」の取組が行われています。家庭・保育園等・学校・地域の4つの場面において、すべての子どもたちが本に親しみ、読書習慣を身に付けることを目指しています。当校では、11月に読書旬間が計画されており、おすすめの本の紹介や読書郵便などのイベントが予定されています。また、「うちどく(家読)」という言葉聞いたことがあるでしょうか。「うちどく」とは、家庭で子どもと一緒に本を楽しむことであり、子どもに読んであげたり、読んでもらったり、本について語り合ったりして本の楽しさを分かち合う取組です。それらの取組を通して、子どもたちの心の成長につなげていきたいです。

「芸術の秋」…11月7日(日)の文化祭に向けて、子どもたちは作品づくりに取りかかっています。「世界に1つだけの特別な作品」の完成に向けて、感じたこと、想像したこと、表したいこと等の思いを大切にしながら絵や立体に表現しています。作品をつくる過程において、子どもたちがどのように表現しているかが大切です。保護者の皆様からは、「どんな気持ちでつくったの?」「どこが難しかったの?」「どんな工夫をしたの?」「上手にできたね!」など、どんな過程でつくったのかを聞いていただき、褒めていただけたらと思っております。それが自信となり、次への意欲につながっていきます。



ここで紹介したのはほんの一例ですが、これからも子どもたちのよい姿がたくさん見られるように、全職員が一丸となって子どもたちを支援していきます。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

巻北小学校の取組を紹介します

互いのよさを認め合い、望ましい人間関係の築きを目指して

豊かな心主任

「心のこもったあいさつ」「自分を見つめ、相手を思いやる」子どもたちを目指し、全校で年間を通したあいさつの推奨や学年・学級づくり、スマイル班活動などの取組を進めています。さらに子どもたちが互いのよさを認め合い、望ましい人間関係を築くことを目指して次の2点を重点に取り組んでいます。

- 子どもの気持ちや考えを知り、安心感や自信をもてるように教育相談を年3回実施
6月に教育相談を実施しました。子どもたちの気持ちを共感的に聴くことで、安心感や自己肯定感が高まり、生き生きと学校生活を送っている子どもが多くいます。2回目は11月、3回目は2月の予定です。
- 学級づくりや縦割り班で児童が関わり合う場を設定
スマイル班での活動を休止していますが、学級の中で認め合う場の設定や働き掛けをしています。

子どもたちが熱中して主体的に学習に取り組める授業を目指して

確かな学力主任

子どもたちが熱中して主体的に学習に取り組めるように、子どもの「問い」を大切に学習課題や教材提示を工夫した授業を行っています。情報を隠したり、比較したりすることで、問題解決の意欲が高まり、子どもの生き生きとした姿が見られるようになりました。今年度はさらに次の2点を重点に取り組んでいます。

- 学習課題の共有と見通しのもたせ方の工夫
学習課題を学級全体で共有し、解決の見通しをもたせるために、子どもとの対話を通して、何を学び、どのように解決していくかを教師と共に考える授業を展開していきます。
- ICTの有効な活用
一人一台タブレット導入により、学びの幅が広がりました。自分の考えを様々な方法で表現したり、共有したりできるようになりました。授業はもちろん、家庭学習でも有効に活用できる方法を考えていきます。

運動に親しみ、進んで体を動かす児童を目指して

健やかな体主任

子どもたちが運動を好きになり、進んで取り組むようになるために、「できた」という成功体験を重ねることを大切に、体育授業に取り組んでいます。今年度は、感染症対策を講じて、形を変えながら運動会や水泳授業、マラソン大会を実施することができました。今後も、子どもたちが運動に親しむ機会を実施していきます。

- 運動の基礎感覚を育む、授業開始3分間の「走りぬく」タイム
逆さ感覚や腕支持感覚など、運動の基礎的な感覚を育むことで、子どもたちの「できる」体験につながります。時期ごとに動きの種類を変えて、授業の開始3分間の「走りぬく」タイムを、粘り強く、楽しみながら行っています。
- 各種運動強化月間(体力テスト・マラソン・鉄棒・縄跳び)
全校で気持ちを高めて各種の運動に取り組めるように、体育委員会と連携して、強化月間を設定しています。

1・2年生 上堰潟公園に行ってきました 10月15日



わたしは、うわせきがたこうえんのえんそくで、ウォークラリーがたのしかったです。どんぐりさがしのチェックポイントでは、たくさんどんぐりをひろいました。ジャンケンでは、2かいめでせんせいにかてうれしかったです。

1年

わたしは、えん足でリーダーになりました。リーダーとして、1年生に「足いたくない?」「のどがかわいた?」とやさしく声をかけました。ウォークラリーでは、あきさがしをしました。はんのみんたときょうかして、楽しくゴールができてよかったです。

2年

